

はやね はやおき 朝ごはん テレビをとめて外遊び



三角帆

平成29年度
別海町立野付小学校
学校だより No.8
平成29年10月31日
発行責任者
校長 山本 尋子

<みんなのめあて> ~がんばる・考える・思いやる~

.....より良いもの(自分)をめざして.....

10月15日の学芸会には、たくさんの保護者・地域の方のご来校をいただきありがとうございました。温かな声援と大きな拍手が子ども達の背中を押し、いつも以上の姿を見せてくれたようです。今年は高学年を中心に、自分たちで作りに上げる学芸会を目指し、互いの演技を見合いより良い表現になるよう話し合ったり、自分達なりに振り付けを考えたり、総練習の演技を見てたった一日でしたが、もっとできる！と一生懸命練習する子ども達の姿がありました。自分たちで必要なことを考え、行動に移すのを見て、学芸会という行事で子ども達がまた一回り成長していることを感じました。仲間と共に一つのことに取り組んだこの経験を次に生かして行ってほしいと思います。

さて、学芸会が終わってすぐにメディアコントロールの授業を4・5・6年生を対象に行いました。ここで、少し紹介させていただきます。

メディアコントロールの授業から

初めに子ども達に、スマホやゲーム機等の所持率や使い方・使用時間を聞くと、すべてが他の地域より格段に多く、自由に使っている子の割合も多かったです。

1. メールやラインは便利だけど、気持ちや心は伝わらない。誤解もされやすい。時として、相手を傷つけてしまう。大事な気持ちを伝えるには、ちゃんと会って話そう。
2. ゲームがやめられなくなるのは、脳の中でやればやるほどもっと楽しく感じさせる物質(ドーパミン)が出るため、ゲームを止めるとイライラしたり、怒りっぽくなってしまう。だから、そうならないように、時間を決めてゲームをしよう。(1時間未満だとあまり影響が出ないそうです)
3. 一生懸命家で勉強しても、ゲームやライン、スマホなどをしていると、勉強したことが消しゴムで消すように消えてしまう。これは、東北大学の教授が7万人の小・中学生を調査してわかったことです。1日に2時間以上家で勉強しても、スマホやラインを3~4時間以上する人より、家でほとんど勉強しないけど、スマホやラインもしない人の方が成績が良い⇒長時間のスマホやラインで学習したことが頭から消えてしまう！その悪影響は1年では消えない！そうです…。

子ども達は講師の先生からもっともっとたくさんのお話を聞きました。そして、一番大事なことは、自分でスマホやゲーム機などの良いところ悪いところを知り、正しい使い方を自分で考えて、それができるようになるということでした。そうなるまでには、もう少しかかりそうな小学生という時代です。どうぞ、どういう使い方が子ども達にとって良いのかお家でも話し合い、子ども達が正しい使い方ができるよう助けていただければと思います。

校長 山本 尋子

